

平成31年3月25日(月)

福島県教職員人事異動発表

本日付で、福島県教職員人事異動発表です。惜しまれつつ本校を後にする先生方、ありがとうございました。

また、本校にいらっしゃる先生方、どうぞよろしくお願いします。

本校を去るときには、とても言いしれない寂しさが募ります。この子たちともう会えないんだなあとと思うと、とても申し訳なく、また、非常に残念に思うものです。

平成17年3月、いわきを後にして福島に転勤になった折、野球部顧問であった私は、残していく野球部の生徒たちに自分の気持ちをうまく伝えられないもどかしさの中、話さなければならないことばかりが気になって、それでも何を言っても、もう次の展開が与えられていないことを思い知りながら、「甲子園に行ってくれ」と叫ばずにはいられませんでした。

ちょうど、昭和50年(1975)、昭和60年(1985)、平成7年(1995)、と甲子園出場を果たしていたので、平成17年(2005)には、ぜひとも勝ち取ってほしいと願っていたのです。

はからずも、日大東北の時代から聖光学院が私立の強豪として力をつけてきた時代と重なりました。

磐城高校で教鞭をとったものしかわからない、生徒たちとの心温まる交流は、その後の教員生活においても心の支えとなります。

とはいっても、今からでも異動を止められないかと思いながら、残りの日数を数えながら最後の荷物整理をするものです。

生徒の皆さん、卒業生の皆さん、ぜひ、先生方にお礼の言葉を述べてください。先生方が、心残りなく次の勤めに進めるよう力を貸してあげてください。そしてお礼を言いましょ。心を込めて。

本当に、先生方、磐城高校に力を注いでいただきありがとうございました。